

## (1) 若年層への薬物乱用防止啓発の強化

方向性	<p>若年層への薬物汚染が急速に広がり大きな社会問題となっており、青少年による薬物乱用の根絶及び規範意識の向上は重点課題となっています。</p> <p>そこで、小学生・中学生を対象に薬物乱用防止教室に取り組む各団体と情報交換・情報共有を行い、連携・協力体制の強化を図りつつ、特に青少年・若年層に対して違法な薬物の危険性について正しい知識の普及をめざして啓発活動を行います。</p>
取り組み	<p>薬物乱用防止街頭キャンペーンを実施します。また、本市オリジナルの啓発リーフレットを作成し、市内の全小学6年生に配付するとともに、薬物乱用の危険性をわかりやすく解説した児童向け書籍を市内の全小学校へ寄贈し、活用を図ります。配付の際には、専門知識を有する講師を派遣し、リーフレット及び書籍の解説を行うとともに、アンケートを実施します。</p> <p>《目標値》</p> <p>薬物乱用防止キャンペーンでの啓発資材の配付数：1,500個（平成29年度1,500個）</p> <p>平成30年度当初予算：1,107千円（うち746千円を「こども夢基金」より充填）</p>

9月末の  
進捗状況  
【〇】

薬物乱用防止啓発児童向け書籍を市内全小学校へ寄贈しました。本市オリジナル啓発リーフレットについては、各小学校の薬物乱用防止教室の実施状況に合わせて順次6年生に配付しています。専門知識を有する講師の派遣も並行して実施中です。街頭キャンペーンは11月6日に実施予定です。

## (2) 働く世代の健康づくり支援

方向性	<p>生活習慣病予防やメンタルヘルス対策を行うには、生涯を通じた健康管理を支援する必要があります。生活習慣病やメンタルヘルスの不調は、働き盛りの年代に端を発していることが多く、健康で長く働き続けるためには事業所が健康づくりに取り組むことが重要です。従業員への健康投資を行うことは、企業の業績向上やイメージアップにつながると期待されており、事業所が従業員に対して行う健康づくり活動を保健所が支援することで、働く世代の健康に対する意識の向上を図ります。</p>
取り組み	<p>「ひらかた健康優良企業」に登録された事業所に対して、健康づくりの取り組みを事業所とともに検討し、健康に関する情報提供や健康教育の実施などの支援を行います。また、市のホームページに掲載するなど、健康づくりを通じて事業所のイメージアップを図ります。</p> <p>《目標値》</p> <p>ひらかた健康優良企業への健康教育実施回数：20回（平成29年度16回）</p> <p>平成30年度当初予算：94千円</p>

<b>9月末の 進捗状況 【○】</b>	「ひらかた健康優良企業」に対して、健康教育を2回実施し、今年度末までに計11回実施する予定です。また、健康に関する情報提供として「保健所つうしん」を2回配信しました（たばこ・朝食）。また、希望する企業については、ホームページに企業名を掲載しています。
------------------------------	---

(3) 食中毒など健康危機事象発生の未然防止	
方向性	安全で快適に生活できるよう、食品関係施設や理美容所などの生活衛生施設における衛生水準の向上を図り、健康危機事象発生の未然防止をめざします。
取り組み	平成30年度に改正旅館業法が施行され、また、食品衛生法の改正が見込まれる中、HACCP（ハサップ）による食品衛生管理の手法等、新たな衛生基準を普及・啓発し、食中毒などの健康危機事象発生の未然防止に努めます。 <<目標値>> 生活衛生に係る健康危機事象発生件数：0件(平成29年度3件) 平成30年度当初予算：14,261千円

<b>9月末の 進捗状況 【○】</b>	食品等事業者に対して講習会、窓口にてHACCPに沿った衛生管理の手法について普及・啓発し導入を推奨しました。また国等が行う説明会や府域自治体で組織するワーキンググループに参加し、衛生管理計画作成を指導するための専門知識を習得するとともに、関係条例の改正や新基準の指導・啓発内容の検討を進めています。
------------------------------	---

(4) 動物愛護精神の啓発及び生活環境の保全	
方向性	人と動物が共生する社会を実現する取り組みとして、犬猫の殺処分ゼロをめざすために、猫不妊手術補助金交付件数の増加、終生飼養・適正飼養などの飼い主責任の周知啓発のさらなる推進を図ります。
取り組み	枚方市動物愛護基金を活用し、現在600件としている猫不妊手術補助金交付件数の増加、動物愛護啓発事業の拡充、動物の管理の質の向上に取り組み、動物愛護の精神及び動物の適正な飼養の啓発及び生活環境の保全を図ります。 <<目標値>> 増加後の猫不妊手術補助金交付件数：900件(平成29年度実績600件) 平成30年度当初予算12,987千円

<b>9月末の 進捗状況 【○】</b>	枚方市動物愛護基金を活用し、本年6月1日より受付を開始した猫不妊手術補助金交付件数は、9月末現在、341件です。 引き続き、愛犬お悩み相談会や動物愛護パネル展の開催及びマナー袋の配布等、終生飼養・適正飼養などの飼い主責任の周知啓発を推進する等、動物愛護の精神及び動物の適正な飼養の啓発及び生活環境の保全を図ります。
------------------------------	--

<b>(5) 自殺予防対策の推進</b>	
<b>方向性</b>	誰もが「生きることの包括的な支援」として必要な支援を受けられるよう、保健、医療、福祉、教育、労働その他の関連施策との有機的な連携を図ることで、自殺対策を総合的に推進します。
<b>取り組み</b>	<p>広く市民に自殺予防について啓発するために、「ゲートキーパー養成講座」の開催や相談窓口の周知を行うと共に、庁内外の関係機関とネットワーク会議を開催し、有機的な連携を図ります。また、自殺対策を総合的に推進するため、自殺対策計画を策定します。策定にあたり、自殺対策計画審議会で調査審議を行うとともに、「自殺対策に関する市民意識調査」をはじめ、関係団体等から広く聴取します。</p> <p>《目標値》 ゲートキーパー養成講座受講人数：130人（平成29年度実績115人）</p> <p>平成30年度当初予算：6,824千円</p>

<b>9月末の進捗状況【〇】</b>	<p>市民への啓発のため、9月の自殺予防週間には枚方市駅、樟葉駅周辺にて啓発物品の配布やゲートキーパー養成講座を開催しました。また、自殺予防対策関係機関実務者会議を開催し、情報の共有を図るとともに、自殺対策計画についての検討を行いました。</p> <p>自殺対策計画の策定については、市役所内の関係課にて構成する健康推進本部自殺対策部会を設置し、検討を行うとともに、外部の学識経験者等から構成される自殺対策計画審議会にて調査審議を行いました。審議会は6月、8月の2回開催し、7月には「自殺対策に関する市民意識調査」を実施し、報告書を作成しました。</p>
--------------------	---

<b>(6) 妊娠・出産から子育て期までの切れ目のない支援の更なる推進</b>	
<b>方向性</b>	安心して楽しく子育てできる環境の充実のひとつとして、子育ての不安感や孤立感を取り除き、喜びを感じながら子育てができるよう、妊娠、出産から子育て期にわたる切れ目のない支援をさらに推進します。
<b>取り組み</b>	<p>妊娠・出産から子育て期、成人・高齢期まで切れ目なく、健康や子育てに関する相談・支援を実施する場として、北部支所内に開設した「すこやか健康相談室」について、地域での活動の充実を図るとともに、他地域への設置を検討します。また、これまで保護者の自己負担で受診していた「新生児聴覚検査」の費用助成を行い、保護者の経済的負担を軽減することで、受診率の向上をめざし、聴覚障害の早期発見・早期療育を図ります。</p> <p>《目標値》 新生児聴覚検査 受診率：100% すこやか健康相談室での年間相談・支援件数：2,400人（平成29年12月～平成30年3月実績755人）</p>

平成 30 年度当初予算：1,036 千円（市民の健康を支える地域拠点運営経費）  
7,043 千円（新生児聴覚検査事業費）

**9 月末の  
進捗状況  
【○】**

地域での活動の充実を図るため、「すこやか健康相談室 北部リーフ」で、平成 30 年 7 月より予約制栄養相談を開始し、また、来所相談や家庭訪問、出前健康相談、出前健康講座の実績を伸ばしました。  
「新生児聴覚検査」の費用助成を、10 月 1 日以降に産まれた乳児から開始しました。

**（7）がん対策の推進**

**方向性**

がんに関する知識の普及啓発に努めるとともに、がんを早期発見し、適切な治療に結びつけられるよう、各種がん検診について受診率向上や精度管理に努めます。

**取り組み**

肝がん対策の一環として、対象者に肝炎ウイルス検診の無料クーポン券を送付します。また、乳がんの自己チェック方法について記載された「お風呂で乳がんチェック」シートを配布するなど、がんに関する知識の周知啓発を図るとともに、引き続き無料クーポン券の送付や効果的な受診勧奨を行い、各種がん検診の受診率の向上を図ります。

《目標値》

- ・肝炎ウイルス検診受診者数 4,000 人（平成 29 年度 335 人）
- ・受診率 大腸がん検診 40%（平成 29 年度 7.7%）  
乳がん検診 50%（平成 29 年度 14.2%）  
子宮頸がん検診 50%（平成 29 年度 16.3%）

平成 30 年度当初予算：458,967 千円

**9 月末の  
進捗状況  
【○】**

肝がん対策の一環として、対象者に肝炎ウイルス検診の無料クーポン券を平成 30 年 6 月末に約 4 万人に送付しました。また、乳がんの自己チェック方法について記載された「お風呂で乳がんチェック」シートを約 4,700 人に配布するなど、がんに関する知識の周知啓発を図りました。さらに、6 月にがん検診無料クーポン券を約 5 万 500 人に送付し、9 月に子宮頸がんの効果的な受診勧奨を行うなど、各種がん検診の受診率向上にむけた取り組みを行いました。